

運用資産の構成状況(令和3年12月末)

林業退職金共済事業等勘定 給付経理

当月末の運用資産構成状況は、次のとおりである。

(単位：百万円)

資産区分	基本ポートフォリオ	資産額	資産構成比
国内債券	80.7%	12,784	79.9%
国内株式	3.5%	624	3.9%
外国債券	8.6%	1,341	8.4%
外国株式	7.2%	1,247	7.8%
合計	100.0%	15,996	100.0%

- (注) 1. 国内債券の内、満期保有目的の債券及び預金の資産額は、帳簿価額である。
 2. 包括信託の資産額は、合同運用の全体額を総口数で除して求めた額に林退共資産の保有口数を乗じて算出した額である。
 3. 包括信託の会計文書の勘定科目名は金銭信託である。
 4. 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

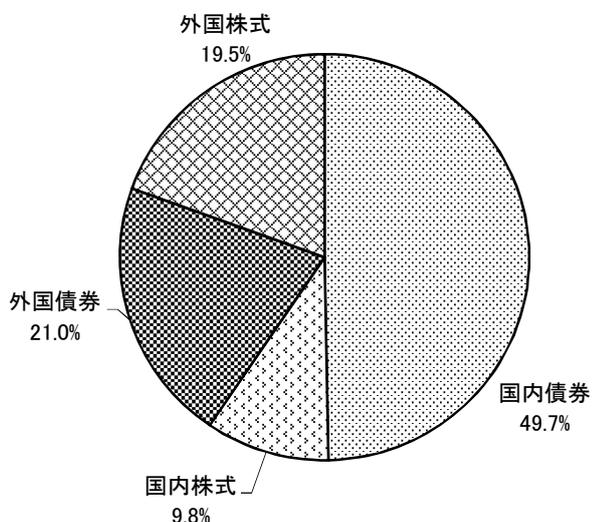
うち委託運用部分と乖離許容幅※

(単位：百万円)

資産区分	基本ポートフォリオ	資産額	資産構成比	乖離許容幅	乖離状況
国内債券	50.7%	3,170	49.7%	±5.3%	△ 1.0%
国内株式	9.0%	624	9.8%	±2.4%	0.8%
外国債券	22.0%	1,341	21.0%	±2.4%	△ 1.0%
外国株式	18.3%	1,247	19.5%	±5.3%	1.2%
計	100.0%	6,382	100.0%	—	—

※令和3年10月に移行した新基本ポートフォリオでは、自家運用部分は流動性確保を目的とした簿価評価資産、委託運用部分は利回り獲得を目的とした時価評価資産、という役割や評価方法の違いに鑑みて、基本ポートフォリオの効率性を維持するための乖離許容幅は、委託運用部分のみに設定した。

委託運用部分における資産構成比



基本ポートフォリオ乖離状況

